

毎月20日は  
ペットフードの日

一般社団法人  
ペットフード協会

# ペットの食事管理で 気を付けたいこと



## ペットフードの選び方／使い分け

主食として与えるなら、①総合栄養食と記載してあるフードを選ぶこと。さらに、②愛犬・愛猫のライフステージにあったフードを選びます。ドライタイプの場合は、粒に大小があるのでペットの体の大きさや歯の状態に合わせて選ぶようにしましょう。ペットフードは、水分含有量の違いによってドライタイプ、セミモイストタイプ、ウエットタイプ（缶詰・レトルト等）があります。ウエットタイプは嗜好性にかかわらず、ドライタイプより食べるスピードが速くなるので与える量には注意が必要です。また、味覚、臭覚、質の感じ方は犬と猫では異なり、ペットによっても違うので、食事の様子や体調を見ながら使い分けることが必要です。おやつや一般食などの総合栄養食以外のフードを使う場合は製品表示に基づいた給与を心掛け栄養のバランスに注意してください。

## ペットに与えてはいけない食材

- ねぎ類 玉ねぎやニラ、にんにく等のねぎ類は、含まれているアリルプロピルジスルファイドという成分が赤血球を破壊するため、犬や猫には食べさせはいけません。この成分は加熱しても分解されないのハンバーグやカレーなどの加工食品や玉ねぎ等のエキスがしみ出た味噌汁やすき焼きなどの煮汁等も注意が必要です。
- キシリトール 虫歯を起こさない甘味料としてガムなどに称されているキシリトールを犬が食べると、インスリンが過剰分泌され、肝障害や低血糖発作、嘔吐を引き起こしますので、犬には、少量でもキシリトール入りの食品を与えてはいけません。
- 鶏の骨 鶏の骨は、縦に尖った状態で割れやすく、喉や消化管を傷つける恐れがあります。

ペットフード／ペットマナー検定公式テキストより

